

ご挨拶

副理事長 佐々木 年 光

初秋の候 会員の皆様には元気にお過ごしのことと拝察いたします。

現在終わりの見えない新型コロナウイルスとの闘いの真ただ中にあり、日常生活が大幅に制限される状況が続いております。誰もが以前の平穏な生活に戻れることを望んでいるものと思っております。

早いもので、2019年4月に開設した放課後等デイサービス『ビスコーサ』もお陰さまで2年が過ぎました。毎日放課後になると10名程度の児童が通ってきて先生方について生き生きと勉強やスポーツ等を楽しんでおります。

さて、2002年(平成14年)に設立したNPO法人サポートセンター・ビーイングも来年20周年を迎えることとなりました。これも一重に会員の皆様はじめ地域や多くの皆様のご指導とご協力に支えられた賜と思っております。

現在20周年記念に向けての実行委員会を設立し、20年の歩みを綴る記念誌の発行や式典の内容等の検討をしております。来年には新型コロナウイルスも終息し元の日常生活が戻り、20周年記念式典が盛大に行えることを切望しております。

今後とも関係各位の皆様の一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

ご寄付をいただいた皆様

清水一子 様、高橋修一 様、澤村美代子 様
柿崎洋助 様、国際ソロプチミスト横手 様
佐々木時子 様、佐々木義隆 様、田中ミヤ子 様
林崎工務店 様、 山上敏子 様、佐々木年光 様
石川静子 様、佐藤健一 様

ご支援いただきありがとうございます。



毎年ご寄付をいただいている
国際ソロプチミスト横手 様
会長の若林様、 大島様にお越しいただき
贈呈式を行いました。



〈 7月26日 横堀交流センターにおいて〉

これまでにご寄付いただいたものを子ども達が
活用しているようすを一部ご紹介します。



今年も雄勝中央病院にビスコーサを植えました。



理事の今野幸朗氏による ミニミニコンサート

理事会のあと、ウクレレを弾きながら自作の曲を披露してくれました。ウクレレも歌もプロ級です。

8月19日に収穫祭としてカレーライスを作り皆でいただきました。そのときに、理事長手作りの紙芝居を披露していただきました。

真剣に聞き入る子ども達



2020パラリンピック 湯沢市採火式に参加



8月16日 湯沢市上ノ岱 地熱発電所PR館前において採火式を行いました。

ビスコーサからは児童6名が参加しました。湯沢翔北高校の生徒が作った機器で火をおこしランタンに移しました。参加者全員でそのランタンをリレーしました。

寺門理事長の挨拶のあと湯沢市長とともに秋田市まで湯沢市の火を運んでいただきました。

県の記念日 特別表彰

8月27日金曜日に秋田県庁において、県の記念日特別表彰をいただきました。推薦者は秋田県雄勝地域振興局です。ビーイングの20年の活動を評価していただきました。この表彰は今年で150回目（150年の歴史のある表彰）に当たるそうです。翌日の魁新聞に掲載されました。たくさんの報奨金をいただきました。大切に使用させていただきます。

令和3年度秋田県特別表彰授与式



放課後等デイサービス

ビスコーサの活動

(6月から9月)



毎日10名ほどの子ども達が利用しています。ビスコーサに来たら、初めに宿題を終え、おやつを食べながら様々な活動に取り組みます。植物を育てたり、遊具で遊んだり、ボール鬼をしたり、買物学習をしたり、プールで遊んだりと盛りだくさんの夏でした。

